子どもが病院へ行けない

社保協調査　府内で628人に資格書

格差と貧困が広がるなか、病院へ行けない子どもたちが生まれている。

協会が常任幹事団体を務める大阪社会保障推進協議会の調べによると、15歳以下の子どものいる世帯に対して国民健康保険料の滞納による資格書が多数発行されていることが分かった。

近年、国民健康保険料を滞納する世帯が急増し、府内で保険料滞納による資格書発行世帯は2万9433世帯（08年3月）に上る。そのうち、少なくとも628人以上の子どもたちの世帯に資格証明書が発行されている。

この人数は、社保協が独自に府内の各市町村に調査した結果である。未回答の自治体を含めると2千人を超えるのではないかと社保協の寺内順子事務局長は語る。

この問題は、社保協が毎年開催している自治体キャラバン行動での大きな交渉テーマとして、府内の各自治体に対し、子どものいる世帯に資格書を発行しないよう強く求めている。

◆

社保協は、今後もキャラバン行動を予定している。ご都合のつく先生はぜひご参加ください。ご参加を希望される場合は協会事務局（☎06-6568-7731）までお問い合わせください。

キャラバンで国保の改善を訴える貴島正彦副理事長（立っている人）＝6月20日、東大阪市

日時	自治体名
7/18(金)10:00～	高槻市
7/18(金)13:00～	島本町
7/22(火)10:00～	枚方市
7/22(火)13:00～	交野市
7/22(火)15:45～	四条畷市
7/23(水)10:00～	箕面市
7/23(水)13:00～	豊能町
7/24(木)13:00～	大阪狭山市
7/28(月)10:00～	羽曳野市
7/29(火)13:00～	茨木市
7/31(木)10:00～	寝屋川市
7/31(木)14:00～	守口市

ほんBook

〝橋下ブーム〟が巻き起こるなかで、橋下「改革」を分析し、読者に冷静な判断を促す貴重な一冊である。

編者は大阪自治体問題研究所。執筆者には自治体行政や財政の専門家が並ぶ。一貫しているのは、「財政再建と府民生活の充実は両立する」という視点である。

橋下知事の「改革」は、財政再建のために府民に犠牲を強いるというものだ。本著は、そんな府政を自治体財政のあり方から考察するとともに、橋下知事の「大阪府＝破産会社」論の誤りを指摘。さらに特筆すべきは、橋下「改革」と同じ条件で別の再建策をシミュレーションしていることにある。府民に一切負担を求めずに財政再建する同研究所の改革案に、目からうろこが落ちた。

本著は、財政再建した先の橋下「改革」の狙いにも迫る。府民サービスを削って財政を再建した先に、どんな大阪府が待っているのか。それを知る手掛かりになる一冊だ。（事務局・山本正剛）

せせらぎ出版（950円）

物件案内

歯科医院譲渡

【所在地】大阪市内

【条件等】居抜き物件、チェア1～2台、パノラマ、デンタル、30坪（賃借）、保証金300万円（解約引150万円）、家賃32万円、駅近く、大型商店街に面する、売値680万円～

【連絡先】協会新聞部まで

◇　◆　◇

このコーナーへの掲載は、会員に限らせていただきます。協会は紹介のみとし、詳細についての確認や条件などの交渉は当事者間でお願いします。この件にかかるトラブルについては、協会は一切の責任を負わないものと致します。

川下り

原　慶充（吹田市）

リレーエッセイ　あの日あの頃　235

「川下りせえへん？」。その言葉で始まった。「激流」という映画を見た友人からの突然の誘いである。早速、ビデオを借り、見終えた私は〝流れたい〟と思い、友人に二つ返事でOKした。

場所は、長野県。自然の宝庫である。その中でも川下りで有名な天龍川に決めた。後はメンバーである。周囲の友人に声を掛けるも、誰一人として乗ってくる奴はいない。それもそのはずである。それらの知識と言えば、映画のストーリーしかないのだから仕方がない。しかし、二人だけでは心細い。強引にもう一人を誘い、3人で行く事に決まった。ゴムボートとヘルメットを購入し、他にも必要なものを買い揃え、私達は出発した。

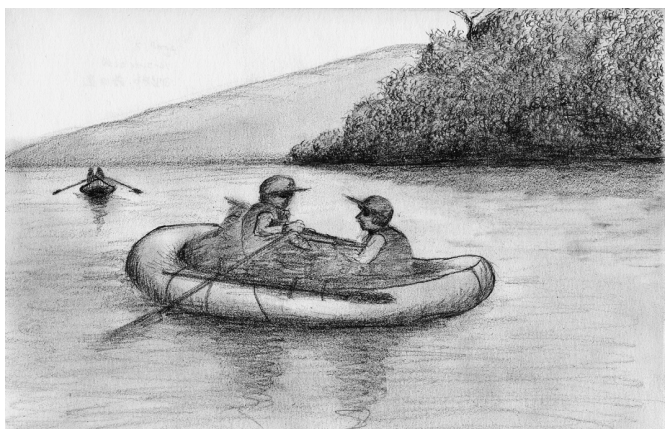
川を下り始めて5分程たった時である。少しの勢いでバランスを崩した友人が、オールを流してしまった。少しあせったが、仕方がない。始まったばかりだ。その数分後、水位がなかったせいでボートの底が川底にする様になったり、水門があるたびに担ぎ、何とか流れのある所まで来た。その時である。幾度となく川底をすったせいで浸水し始めた。手でかき出すが無理である。陸に上がり、近くの自転車屋で修理してもらい再出発する。

流れに沿い出した頃、釣りのスポットに差し掛かった。皆がこちらを見ている。迷惑であったのだろう。罵声が飛び交う。離れようにもオールが一本しかないのだ。手で漕ぐしかない。何とか通過するも勢いが増した頃、先ほどと比べものにならない程の浸水である。慌てて岸に上げてみると、穴が開いた舟底には、何故か斧が刺さっていた。サバイバルで必要と判断し、購入した物であった。修理不能となり、断念せざるを得ない。

その頃、辺りは暗くなり、出発して8時間程たったであろうか。友人に迎えを頼んだ。帰り道は、わずか30分程であった。機会があれば又、その時のメンバーと〝激流〟したいものである。

◇

原慶充先生ありがとうございました。次回8月15日付は原先生のご推薦で、村井幸栄先生（寝屋川市）にバトンタッチされます。どうぞご期待ください。



絵　藤田　進氏（河内長野市）

協会行事案内

講習会へ参加ご希望の方は、必ず事前に協会までお申し込み下さい。

お申し込みは　電話　06-6568-7731　ファクス　06-6568-0564

雇用管理研究会（歯科・医科協会共催）

「医院経営に必要な改定労働法のポイント ―パート労働法、労働契約法等」

日時　7月19日（土）午後3時～5時30分
講師　桂好志郎社労士
会場　M&Dホール（保険医会館隣り）
会費　会員無料　**定員**　100人

7月度生涯研修

「一から始める口腔ケアと維持・回復に必要な基礎知識（後期高齢者の口腔機能管理）」

日時　7月20日（日）午前10時30分～午後1時
会場　M&Dホール（保険医会館隣り）
定員　100人
講師　五島朋幸氏（東京都新宿区開業、ふれあい歯科ごとう代表）
会費　会員3千円、未入会者1万円
※在宅療養支援歯科診療所の施設基準に係る研修内容を含む

「アシスタントのためのセメント・印象材練和テクニック」

日時　7月20日（日）午前9時30分～12時30分
会場　保険医会館5階　**定員**　20人
講師　岩崎小百合氏（歯科学術・臨床学会部員）
会費　会員院所スタッフ3千円
※開催要項、会場案内図を送付しますので、必ず事前にお申込みください

第2回社保講習会

日時　7月26日（土）午後6時～8時
会場　M&Dホール（保険医会館隣り）
講師　社保研究部講師団　**定員**　100人
会費　会員無料、未入会者1万円
内容　「検査・画像診断・投薬・麻酔、処置、手術」、第3回8月23日（土）「歯周疾患、歯冠修復・ブリッジ、有床義歯」
※『歯科保険診療の研究』2008年4月版をお持ちください

北大阪地区講習会

「歯周病と全身疾患との関係」

日時　7月27日（日）午前10時～12時
会場　千里阪急ホテル「仙寿の間」（「千里中央」駅南出口から徒歩3分）
講師　鴨井久一氏（日本歯科大学名誉教授）
会費　会員無料、未入会者1万円　**定員**　150人

「税務調査対策研究会」（歯科・医科協会共催）

日時　8月30日（土）午後3時～5時
会場　保険医会館　**定員**　50人
会費　会員無料
講師　協会顧問税理士団

未入会者とは、会員院所に勤める勤務医未入会者です

※協会行事などを本紙で報道するため、講習会などの写真で個人が特定されることがありますが、趣旨をご理解の上、ご了承ください。また、講習会でのビデオ撮影や録音はお断りします。

※M&Dホールとは、医科・歯科両協会が協同組合会館5Fに共同で建てたホールの名です。